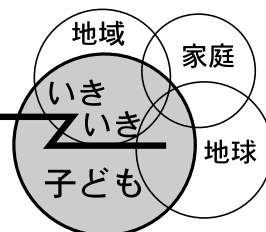


授業はすべて英語で

みなさん、こんにちは!

大阪YMCAインターナショナルスクールです



幼小中の一貫学習へ

9月から中学校も開校

大阪YMCAインターナショナルスクールは、地下鉄中央線、JR環状線の弁天町駅から徒歩3分のオーク200ビル8階にあります。

語が共通語で、日本語は第二外国語として学習します。

小学生になると、週2時間の日本語の授業があります。また、教室での勉強ばかりでなく課外活動にも積極的にとりくんでいます。特にPhysical Education(体育)・Music(音楽)は専門の先生が指導し、週1日スイミングやアクティビティを行います。

この9月からはGrade 7(中学校)が開校し、児童、生徒への幼小中一貫した学習の場として、更なる発展が期待されます。また、新学期に伴い、米国、シンガポール、カナダ、オーストラリアから優秀な教員が新たに加わることになりました。2005年度、気持ちも新たに躍進いたします。

OYISスタッフ 山本陽子

可能性を秘め日々成長

OYISの教育方針に賛同

次男がこの秋からOYISのグレード5に進級しました。彼は、去年の夏に母親とニューヨークに出かけました。彼にとって初めての海外旅行は、戸惑いも多く、ホテルに引きこもりがちでしたが、今夏、再びニューヨークへ出かけた彼は、

まるで水を得た魚のように街に溶け込み、母親の通訳として活躍したそうです。

次男がOYISに入學する際、彼に対する教育方針を家庭で考えました。彼の兄弟はすでにそれぞれの将来の進路を決めておりました。兄弟の教育を通じて、日本の教育制度について深く考える機会を与えられ、その時代時代に望まれる人物像を育んでいくにはどうすればいいのだろうか? という疑問を持ちつづけておりました。そして刻々と変わる世界情勢の中で、教育の普遍性は地球上の平和を希求することであるという確信にいたり、OYISの門をた

日韓の教育の相互交流の場

日本YMCA教育交流センター

8月1日 ソウル市にオープン



「日本YMCA教育交流センター(ソウルセンター)」が、ソウルYMCA鍾路の会館5階に8月1日オープンしました。

このセンターはソウルYMCA、韓国YMCA連盟の協力のもと、大阪YMCAが運営責任を担っています。

韓国から日本各地のYMCA日本語学校への留学の窓口として出

日本YMCA教育交流センター Japan YMCA Educational Exchange Center 住所: SEOUL 市鍾路區鍾路2街9番地 YMCA BLD 525号室 (525YMCA Bldg, #9, Jongno2-ga, Jongno-gu, Seoul, Korea) TEL: 82-2-732-7981 ~ 2 FAX: 82-2-732-7983

発しますが、YMCA専門学校への留学、また日本人の韓国への語学留学など、教育の相互交流の役割を担いたいと考えています。

センターには2名の韓国人スタッフ(大阪Y嘱託職員)が常駐し、日本各地のYMCA日本語学校と連絡を取りながら業務を進めていきます。このセンターが日本と韓国のYMCAの教育交流の場として活用されることを願っています。

第11回チャリティーラン2005

11月23日(祝)

チャリティーランは心身に障がいのある方々を支援しようと、東京の在日大使館や外資系企業で構成するボランティア委員会と日本YMCA同盟国際賛助会がタレントのチャック・ウィルソン氏の提唱を受けて始まり、全国各地のYMCAで行われています。今年で11回目を迎える大阪YMCAチャリティーラン。大会はボランティアによって運営されています。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

日時 11月23日(祝・水) 9:00~12:00 雨天決行
会場 大阪府営浜寺公園

- ▼ランナーとしてのエントリー
 - 参加費 1チーム5万円
 - コース 全走行距離 計約10km(駅伝式)
 - ルール 1チーム6人(そのうち2人以上を女性とする)
 - 申込み時に順位制か宣言タイム制かを選択
 - ▼寄付(寄付金・備品類等)による支援
 - 寄付金、抽選券購入(前売り/当日)、賞品、景品、飲み物、Tシャツ、タオル、賞状、試供品、その他いろいろ
 - ▼運営ボランティア 会場設営、誘導、備品準備等
 - ※事前説明会実施予定
- 問合せ・申込み 大阪YMCA国際・社会奉仕室
TEL 06(6441)0894
E-mail info@osakaymca.or.jp

たきました。

言葉のもつ壁、風習や慣習に対する偏見、異なる価値観を理解し、共有

することが初等教育において重要であると考え、これらのことを学び、身に付けていくことが真の国際性に繋がるという認識から、OYISの教育方針に賛同しました。

おかげさまで次男は無

限の可能性を秘めながら毎日元気に通学しています。二元気がよすぎて、先生に叱られる毎日ですが、先生方の暖かい愛情、クラスの友情に支えられ、日々成長しているように見受けられます。

次男が家庭の中で発言する言葉の中に、親の世代が学べなかったことや気付かなかったことを発見し、彼とともに私たちが成長できることを心から楽しんでいきます。

OYIS役員・在籍生保護者 津田賀三郎